

平成28年10月 全国百貨店売上高概況

平成28年11月22日

I. 概況

1. 売上高総額	4,755億円余
2. 前年同月比	-3.9% (店舗数調整後/8か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	81社 234店 (平成28年9月対比-2店)
4. 総店舗面積	5,855,996㎡ (前年同月比:-3.0%)
5. 総従業員数	74,496人 (前年同月比:-3.8%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	3-5月 -3.9%、4-6月 -4.1%、5-7月 -2.8%、 6-8月 -2.9%、7-9月 -3.4%、8-10月 -4.9%

[参考] 平成27年10月の売上高増減率は4.2% (店舗数調整後)

【特徴】

10月の売上高は前年同月比3.9%減。8か月連続でマイナスしたものの、シェアの高い衣料品が徐々に回復を見せていることを背景に、8月(-6.0%)、9月(-5.0%)からは落ち込み幅を減少しており、改善傾向が見られる。

内訳として国内市場(シェア96.8%)は3.6%減で、持ち直しを見せているが、インバウンド(シェア3.2%)が、国慶節期間(10/1~10/7)の伸び悩みが影響し、売上は13.2%減と7か月連続で前年を下回った。一方、購買客数は45か月連続で前年を上回り8.6%増を記録。

地区別では10都市計が3.8%減、10都市以外計が4.1%減と、全体的な傾向は変わらないながらも、売上規模の大きい東京地区の不振がマイナスの影響度を深めている。また、規模別でも全ての店舗規模が前年に届かなかった。

商品別で見ると、気温が高めだった上旬のマイナスが響き、衣料品は6.5%減。改善傾向にはあるものの、紳士服(-5.4%)、婦人服(-7.1%)に未だ課題が残る。なお、化粧品は好調を継続しており、5.4%増で19か月連続前年を確保した。

11、12月は歳暮とクリスマスギフトの利用顧客の買い回り需要を確実に取り込むことにより、更なる改善を狙っていく。

【要因】

(1) 天候：気象庁発表「10月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇日本の南海上で太平洋高気圧の勢力が強く、暖かい空気が流れ込みやすかったため、東・西日本では気温がかなり高く、特に西日本では月平均気温が平年差+2.0℃となり、1946年の統計開始以来最も高かった。また、西日本では曇りや雨の日が多く、月間日照時間がかなり少なかった。

(2) 営業日数増減 30.9日(前年同月比 ±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 11日(" +1日/日曜1日増)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数134店舗)

①増加した：35店、②変化なし：39店、③減少した：60店

(5) 10月歳時記(秋物商戦、秋の行楽)の売上(同上/有効回答数98店舗)

①増加した：4店、②変化なし：59店、③減少した：35店

全国百貨店 売上高速報 2016年10月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後（ ）が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
全 国	475,515,527	100.0	-3.9 (-4.4)
10都市	322,630,325	67.8	-3.8
札幌	12,708,243	2.7	-0.5
仙台	6,828,010	1.4	-4.3
東京	126,553,306	26.6	-4.4
横浜	28,102,915	5.9	-2.9
名古屋	30,472,625	6.4	-1.3
京都	19,370,364	4.1	-4.4
大阪	60,262,796	12.7	-5.3
神戸	12,263,717	2.6	-4.0
広島	10,022,509	2.1	-1.1
福岡	16,045,840	3.4	-3.2
10都市以外の地区	152,885,202	32.2	-4.1 (-5.7)
北海道	1,551,370	0.3	-7.7 (-38.3)
東北	8,197,294	1.7	-3.6 (-4.3)
関東	68,521,976	14.4	-4.4 (-6.7)
中部	11,785,204	2.5	-5.0
近畿	20,637,258	4.3	-2.6
中国	11,029,596	2.3	-3.9
四国	8,138,637	1.7	-2.5
九州	23,023,867	4.8	-4.5

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	475,515,527	100.0	-3.9 (-4.4)
紳士服・洋品	36,811,002	7.7	-5.4 (-5.8)
婦人服・洋品	107,301,451	22.6	-7.1 (-7.6)
子供服・洋品	11,007,204	2.3	-2.7 (-3.2)
その他衣料品	11,590,773	2.4	-8.3 (-9.0)
衣 料 品	166,710,430	35.1	-6.5 (-7.0)
身のまわり品	61,456,437	12.9	-3.5 (-4.0)
化粧品	36,150,772	7.6	5.4 (4.9)
美術・宝飾・貴金属	27,075,063	5.7	-6.8 (-7.1)
その他雑貨	17,851,370	3.8	-5.3 (-6.1)
雑 貨	81,077,205	17.1	-1.4 (-1.9)
家 具	5,420,796	1.1	-9.0 (-9.4)
家 電	1,068,013	0.2	-31.2 (-31.2)
その他家庭用品	14,707,591	3.1	-4.8 (-5.2)
家 庭 用 品	21,196,400	4.5	-7.7 (-8.1)
生 鮮 食 品	24,022,071	5.1	-2.6 (-3.2)
菓 子	28,765,925	6.0	-2.1 (-2.7)
惣 菜	29,711,261	6.2	-1.6 (-1.9)
その他食料品	35,582,136	7.5	-2.1 (-2.8)
食 料 品	118,081,393	24.8	-2.1 (-2.6)
食 堂 喫 茶	12,664,561	2.7	-3.5 (-4.4)
サ ー ビ ス	5,480,422	1.2	1.3 (-0.3)
そ の 他	8,848,679	1.9	4.1 (4.0)
商 品 券	9,124,394	1.9	-9.8 (-10.0)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | - 3.8% (8か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | - 4.1% (店舗数調整後/12か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	- 3.8	- 2.6	8か月連続マイナス
札幌	- 0.5	0.0	2か月ぶりマイナス
仙台	- 4.3	- 0.1	8か月連続マイナス
東京	- 4.4	- 1.2	3か月連続マイナス
横浜	- 2.9	- 0.2	10か月連続マイナス
名古屋	- 1.3	- 0.1	10か月連続マイナス
京都	- 4.4	- 0.2	7か月連続マイナス
大阪	- 5.3	- 0.7	10か月連続マイナス
神戸	- 4.0	- 0.1	3か月連続マイナス
広島	- 1.1	0.0	2か月ぶりマイナス
福岡	- 3.2	- 0.1	3か月連続マイナス
10都市以外の地区	- 4.1	- 1.3	12か月連続マイナス
北海道	- 7.7	0.0	4か月ぶりマイナス*
東北	- 3.6	- 0.1	12か月連続マイナス*
関東	- 4.4	- 0.6	17か月連続マイナス
中部	- 5.0	- 0.1	8か月連続マイナス
近畿	- 2.6	- 0.1	3か月連続マイナス
中国	- 3.9	- 0.1	3か月連続マイナス*
四国	- 2.5	0.0	8か月連続マイナス
九州	- 4.5	- 0.2	3か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、3か月連続で全品目がマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が19か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-3.9	—	8か月連続マイナス
紳士服・洋品	-5.4	-0.4	3か月連続マイナス
婦人服・洋品	-7.1	-1.6	12か月連続マイナス
子供服・洋品	-2.7	-0.1	6か月連続マイナス
その他衣料品	-8.3	-0.2	12か月連続マイナス
衣料品	-6.5	-2.3	12か月連続マイナス
身のまわり品	-3.5	-0.5	3か月連続マイナス
化粧品	5.4	0.4	19か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-6.8	-0.4	8か月連続マイナス*
その他雑貨	-5.3	-0.2	3か月連続マイナス*
雑貨	-1.4	-0.2	3か月連続マイナス
家具	-9.0	-0.1	8か月連続マイナス
家電	-31.2	-0.1	4か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-4.8	-0.1	7か月連続マイナス
家庭用品	-7.7	-0.4	10か月連続マイナス
生鮮食品	-2.6	-0.1	31か月連続マイナス*
菓子	-2.1	-0.1	3か月連続マイナス*
惣菜	-1.6	-0.1	3か月連続マイナス*
その他食料品	-2.1	-0.2	2か月ぶりマイナス*
食料品	-2.1	-0.5	8か月連続マイナス
食堂喫茶	-3.5	-0.1	12か月連続マイナス
サービス	1.3	0.0	4か月連続プラス
その他	4.1	0.1	2か月ぶりプラス
商品券	-9.8	-0.2	68か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>